

**築地本願寺内 東京ビハーラ主催**

**第14回がん患者・家族語らいの会・オンライン講演会**

**講師：大岡 友子氏(遺族・公認心理師)**

**講題：「がん患者家族、遺族の悲嘆について**

**ー心理師として、当事者としてー」**

**日時：2021年7月10日(土)14時～16時半 参加費：無料**

**【講師プロフィール】**

大阪大学人間科学部卒業。大手損害保険会社に入社、総合職として転居を伴う転勤をしながら、代理店営業、保険金支払査定、人材育成等の業務に従事する。26年間勤務した後、早期退職し、武蔵野大学大学院人間社会研究科修士課程に入学、修了。臨床心理士、公認心理師資格取得。現在、同大学院博士後期課程にて複雑性悲嘆治療について研究、実践する傍ら、武蔵野大学心理臨床センター、築地本願寺銀座サロン、がん研有明病院腫瘍精神科、メンタルクリニック遺族ケア外来でカウンセリングを行っている。

**【講話の内容】**

大切な何かを喪失すると、人は悲嘆(グリーフ)を経験することになります。大切な人や物を失ったことによって引き起こされる苦しい心の状態や反応を悲嘆といいます。悲嘆はごく自然なことなのですが、時として悲しみが長引いて、複雑性悲嘆と言われる状態になることがあります。家族ががんになったとき、家族ががんで亡くなったとき、私たちにどのようなことが起こるのか、どのようにして対処したらよいのか、複雑性悲嘆になるのはどのような場合なのか。当事者としての経験と、心理師として複雑性悲嘆治療を研究、実践する中で得られた知見に基づいてお話させていただきたいと思います。



第14回オンライン講演会にご参加をご希望される方は、下記をご参照の上、お申込みをお願い致します。参加方法：参加を希望する方は、①氏名 ②携帯電話番号 ③お持ちの(パソコン、タブレット、スマホ等④講演会参加のきっかけ)について入力の上、下記のアドレスまでご返信下さい。

申し込み先：浄土真宗東京ビハーラ 担当太田 [urara.ota@gmail.com](mailto:urara.ota@gmail.com)

問い合わせ先：浄土真宗東京ビハーラ 平日 14時～17時 TEL/FAX：03-5565-3418

**参加締切日：2021年7月8日 (木)**